

「感じ」「動き」「かわる」…子どもも学校も、さらに一步前へ！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和8年9月14日 文責：校長 森川 稔



授業参観・懇談会

先週火曜日(8日)の授業参観には、ご多用な中、ご来校いただきありがとうございました。学期はじめにあたり、夏休み明けの子どもたちの様子を見ていただこうと、教室で落ち着いて学びに向かう授業内容にしました。

自立活動で表情ジェスチャーゲーム、算数科で10より大きな数、あまりのあるわり算、図形、国語科でタブレットを使ったしりとり、文の組み立て、社会科で自動車工業など、各学級、各教科で意欲的に取り組む子どもたちの姿を見ていただきありがとうございました。

すべての授業でというわけではありませんが、今学期も一人一人の子どもたちの考えや発言、記述をもとに、先生が答えを一方的に教えるのではなく、子どもたちが自分で考えたり、友だちと話し合ったりする中で学びを深められるような道案内役、つまり「教えるだけでなく、子どもたちの学びを引き出す役割」「学びの交通整理役」「子どもたちが主体になるためのサポーター」に徹していきます。

授業参観後の懇談会では、2学期の学級経営、子どもたちの様子、校外学習等について話し合ったり、実際にお子さんたちと楽しいレクリエーションをしたりしていただきました。

今学期も子どもたちの安全・安心で楽しい学校生活のために、あらためてご理解、ご協力をお願いします。



夏休み作品展

先週金曜日から火曜日まで実施した夏休み作品展では、授業参観の前後を含め、多くの地域、保護者の皆さんにご覧いただきました。子どもたちの力作はいかがだったでしょうか？

習字や絵画、ポスター、工作、自由研究など、それぞれに工夫して作ったりインターネットや本で調べたり、実際にその場に出向いて調べたり、保護者の方と一緒に取り組んだりした作品もあり、とても見応えがありました。図工科の鑑賞や理科の授業の一環として学級単位で見学に行き、感想用紙に書いたり、タブレットでおすすめの作品を撮影したりして、お互いのよさを認め合う機会にもなりました。

ご覧いただいた方々からのご感想も一部紹介いたします。

- 力作ばかりで良い作品ばかりでした。これをもとに地域でも子どもたちに声をかけていきます。
(地域の方)
- 昔にくらべて、自分で作った手作り感があって、これこそ子どもが作った工作!すごく見て良かったです。姪っこも上手に作っていて、ついつい笑顔になりました。(ご親族の方)
- 親にとっては大変でしたが、こうして展示していただくと、皆さんの作品を見ることができて、とてもすばらしいと思いました。(保護者の方)
- 子どもたちみんなの作品がすばらしかったです。特に自由研究の内容は、知らなかったこともたくさんあり、楽しく見学できました。



高齢者疑似体験

4年生は総合的な学習「田平町の人に優しい町づくり」で、社会福祉協議会と実習生の皆さんに指導していただきながら高齢者疑似体験をしました。

装具を身につけ、文字を読んだり、洋服を着脱したりしたあと、実際に廊下歩行や階段の昇降を体験しました。歩行体験後は、スーパーで買い物をする場面を設定し、小銭を財布から出したり、箸で食べ物に見立てたものをつまんだりしました。

文字を見ることがやボタンのつけ外し、小銭を扱うなどがとても難しく、子どもたちからは「ふだん何気なくしていることも、高齢者の方たちにとっては、とても大変なことだということがわかった。困っていたら助けてあげたい。」という振り返りがありました。

2回目の学習では、認知症・高齢者理解について、動画視聴や講話をもとに学びました。



今後は、社会福祉協議会の高齢者の方と実際に交流を行う予定です。より理解を深め、実生活でもたくさんの思いやりの行動が増えてほしいと願っています。

*上記のような関係機関の方に来校していただいての学習に加え、今週は2年生が芋のつる返して北農高校へ、3年生が社会科見学で県漁連事業所、そして6年生は修学旅行が予定されています。どれも充実した学びとなるよう、事前に担任から連絡がっている持ち物等についてお子さんと確認しながら確実な準備をお願いします。

田平東小HPはこちらから→

